

## まるせいゆ港ノ擴張及べーる湖かるんと湖ノ改修

(Le Génie Civil, 17 Janvier 1920)

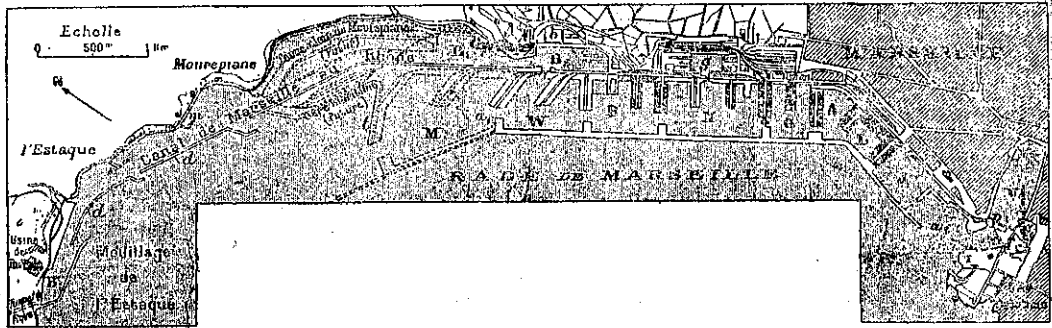
## (一) まるせいゆ港ノ發展ニ伴フ擴張工事ノ必要

戦前まるせいゆ港ノ集散貨物ハ逐年増加シ千八百九十年ニハ其ノ量五、〇三〇、九三三噸ニ過キサリシモ千九百年ニハ五、七〇〇、〇七五噸トナリ千九百十年ニハ七、六四一、三九八噸ニ昇リ千九百十三年ニハ實ニ八、九三八、六五二噸ニ達セリ即チ戦争前ノ二十三年間ニ於テ殆ニ倍ニ増加シタルヲ見ル旅客ノ往來モ亦同様ニ増加シ千八百九十年ニハ二四三、五五〇人ナリシカ千九百十年ニハ四三九、二四四人トナリ千九百十三年ニハ五六六、一六五人ニ達セルヲ以テ約ニ倍三分ノ増加ナリ

戦争中ニ於ケル貨物噸數ハ外觀上減少シタルカ如ク見ユルモ左記ノ數字中ニハ軍隊ノ費用ヲ以テ取扱ヒタルモノ特ニ英國軍隊ニ屬スルモノヲ含マサルコトヲ注意スルヲ要ス即チ千九百十四年ニハ七、四一八、七七四噸ニ減シ千九百十六年ニハ七、八八七、六四三噸ニ恢復シタルモ千九百十七年ニハ再ヒ六、一四七、一八三噸ニ下リ千九百十八年ニハ實ニ五、一三二、二二一噸ニ低下セリ然ルニ他ノ一面ニハ海上入國ノ制限アリシニモ拘ラスまるせいゆヲ通過シタル旅客ノ數ハ逐年増加シ就中東洋諸國軍隊ノ本港ニ輸送サレタルモノ多ク千九百十六年ニハ旅客總數六九六、三五四人ニ及ヒ千九百十三年ニ比シ約十三萬人多キヲ見ル

戦前ノ二十三年間ニまるせいゆ港ハ前述ノ如キ目覺マシキ發展ヲ爲シタルニ拘ラス之カ改良工事ハ其ノ發展ト甚シキ不權衡ナルモノアリテ千九百三年七月十七日公益事業ト認メ其ノ工事施行ヲ公布シタルびねード船渠 (Pondé) ハ岸壁ノ有効長二千百八十六米ニシテ其ノ結果本港ノ岸壁總延長ハ一萬二千八百六十米ヨリ一萬五千米トナレルヲ以テ約十七%

第一圖 まるせいゆ港平面圖(まるせいゆヨリろーぬニ至ル運河ノ隧道部分迄ヲ含ム)



参考資料

まるせいゆ港ノ擴張及ペー湖ノ改修

- |                        |                         |             |            |
|------------------------|-------------------------|-------------|------------|
| A=あれんく船渠               | C=修理船渠                  | G=臨港停車場船渠   | J=じよりえつと船渠 |
| L=らざれー船渠               | M=みらぼー船渠                | N=國民船渠      | P=びねーど船渠   |
| V=菡港                   | W=うゐるそん大統領船渠(舊名まどらーく船渠) | b=家畜置場      | t=みらぼー横堤   |
| $\alpha_1$ =北ノ前港       | $\alpha_2$ =南ノ前港        | m=もーるびえぬ避難所 |            |
| B <sub>1</sub> =待ち合せ船渠 | d=運河ノ外側石堤               |             |            |

ノ收容力ヲ増加シタルニ過キサルニ同期間ニ於ケル貨物ノ増加率ハ岸壁ノ増加率ニ比シ約六倍大ナリ

次ニ現在ウゐるそん大統領船渠(President-Wilson)ト改稱サレタルまどらーく船渠(Madrague)ハ千九百九年一月二十七日公益事業ト認め施工スヘキコトヲ法律ヲ以テ公布サレタリ本船渠ハびねーど船渠ノ北西ノ方向ニ延長セラルモノニシテ新岸壁ノ延長二千五百八十四米ヲ有シ吃水十二米ノ船舶ヲ容ル、ニ足ルモノトス戰爭中萬難ヲ排シ本工事ヲ敏活ニ遂行シ竣功部分ハ之ヲ直チニ利用セムカ爲メ千九百十六年末G波止場ノ南岸壁延長三百五米及外海岸壁ノ一部ヲ竣功シ石炭ノ取扱ヒニ便セリ然レトモ該船渠全部ノ工事ノ終了ヲ見ルハ千九百二十年末ニ至ルヘク又岸壁用諸機械ノ工事モ遅延シ其ノ完成ノ期ハ今日確言シ難シ

右増補工事ヲ爲シタルニモ拘ラスまるせいゆ港ノ貨物状態ハ依然トシテ緩和セラレスシテ船舶ハえすたーく灣(Estaque)ニ長期間待ち合せスルヲ要シ船荷ニ對シ重キ積卸延滞賠償ヲ負擔セサルヘカラサルノ止ムナキ状態ニ在リテ物資轉換ニ關シ商業上ノ損失ヲ蒙ルコト大ナルモノアリ

擬テまるせいゆ港ハ次ニ列記スル諸種ノ事情ニ依リ近キ將來ニ著シキ發展ヲ爲スニ至ラム即チ河川輸送ノ發達ヲ助成スルまるせいゆヨリろーぬニ至ル運河ノ完成航行ノ見地ヨリスルろーぬ河ノ改修、ろーぬ河流域ノ工業ノ發展、新工場ノ設備ヲ決定スルニ大關係ヲ有スル原動力、戰勝ニ基因スル

商工業ノ發達、殖民地資源ノ從前ニ優ル利用、東洋國民トノ一層廣キ關係之レナリ事情斯クノ如キヲ以テ本港ノ集散貨物ハ遠カラス千二百萬噸ニ達スヘク千九百三十年ニハ千五百萬噸乃至千八百萬噸ト見積ルヲ得ヘシ然ルニ之ニ對スル本港ノ豫定改良計畫ハ寧ロ甚タ小規模ニ過クルノ嫌アリ

千九百十三年二月十四日ノ布告ニ由レハじよりえつと船渠 (Toliate) ノ一部岸壁前ハ基線下八米又該船渠ノ殘部及らざれー (Lazaret) あれんく (Aranc) 及臨港停車場ノ各船渠ハ同九米びねード船渠ハ同シク九米半ニ浚渫スルコトヲ認可セリ之等工事ノ一部ハ既ニ著手セラレ其ノ竣功ノ日モ近キニアリ又本港ニ平地ノ足ラサルコトニ關シ商人團ノ至當ナル不アルニ鑑ミまるせいゆ商業會議所ハ千九百十六年三月二十八日まるせいゆヨリろーぬニ至ル運河ノ入口ニ當ルもーるびえぬ (Mourepiane) ト稱スル海岸ノ低地ヲ埋立テ廣大ナル平地ヲ作ランコトヲ決議セリ該個所ハ海岸大道路及運河トじゃねー (Janet) 岬ノ北ニ當ル將來ノ待チ合セ船渠トノ間ニ介在シ面積四十七ヘクタールヲ有シ其ノ前面ニ於ケル運河ハ幅百米水深七米ヲ保タシメ海洋船舶ヲ容ル、ニ足ルモノタラシメトスルモノナリ又千九百十七年五月十五日ノ命令ニテ待チ合セ船渠ニ沿ヒ長六百九十米水深基線下三米ノ岸壁ヲ直チニ築造スルコトヲ認可シタルニ千九百十九年ニ竣功セリ而シテ右工事中ニハ上屋ノ新設軌道ノ布設捲揚機ノ設備ヲモ含メリ次ニまどらーノ灣入部ニ新臨港停車場及有効長三百米及二百五十米ノ二個ノ乾船渠ヲ設クルモノトス

終ニ千九百十七年四月二十四日內閣ハ舊港ノ改修計畫ヲ採用スルコトヲ決議セリ其ノ計畫ハ西部岸壁ヲ擴張シ平地ヲ創設シ新岸壁前面延長二百米ニ亘リ基線下七米乃至七米半ニ水深ヲ増スニ在リ

(二) 將來出來スヘキみらぼー船渠 (Mirabeau)

まどらー船渠ヲ如何ニ延長スヘキカニ就テ深く研究セラレタル結果築造ノ決定ヲ見タル新船渠ヲみらぼー船渠ト稱シ其ノ大要ヲ擧クレハ次ノ如シ

本工事ノ最初計畫セラレタルハ千九百十三年五月ニシテ其ノ後商業會議所ノ意見ヲモ參酌シ千九百十五年十二月七日變

更セラレタルモノナルカ長三百米吃水十三米ノ郵便船ヲ容ル、ニ足ルモノトシ沿岸々壁百三十米及且波止場ノ左右ニ各三百五十米ノ岸壁ヲ設ケ且波止場自體ハ斜形ヲ成シ其ノ南面岸壁長三百四十米北面三百二十五米幅百六十米ヲ有セシメ沿岸々壁ニ殆ト直角ニみらば一横堤ト稱スル一突堤ヲ設ケ長七百五十米ノ水路ヲ供ヘ舟運ニ便シえすた一灣ト船渠トヲ界セシム本横堤ノ東枝ハ且波止場ニ平行シ幅百二十米ヲ有シ總長四百十米ヲ岸壁トシ其ノ北側ハ石積ノ假堤ニ止メ上部ニハ波避ケヲ設ク又其ノ西枝ハ長百三十米幅六十米ヲ有シ其ノ前港ニ面スル壁ハ石積堤トシ水路ニ面スル側面ハ垂直壁トス次ニ外海岸壁ハまどら一、みらば一兩横堤間ノ長九百九十米ヲ有シ天然石ノ疊石積トシ北海ニ面スル部分ハ混凝土方塊ニテ被覆スル工法ヲ採ルヘシ尙外海岸壁ヲ五百米延長シ防波堤ヲ造リ之レヲ以テ前港ヲ形成セシメ新船渠ヲ完全ニ庇保セシム前港トろ一ぬニ至ル運河トノ間ニハ平地ヲ造リ鐵道大操車場ヲ設クルニ至ルヘク運河上ニハ廻轉橋ヲ三個所架設シ本船渠トも一るびえぬ平地トヲ連絡セシメ又他ニ一廻轉橋ヲ設ケびね一ト船渠トノ交通ニ便ス

本船渠ハ水面積六千三百〇六へくた一ノ計畫ニシテ吃水十三米ノ船舶ヲ容ル、ニ足ルヘキ岸壁延長三千七百六十米ヲ備ヘざるせいゆヨリろ一ぬニ至ル運河ニ沿ヒ吃水九米ニ耐フル圍壁二千四百十米ヲ設クルニ至ルヘシ斯クテ長三百米ノ船舶ハ同時ニ十隻長百五十米ノモノハ同時ニ二十一隻ヲ岸壁ニ擊留スルヲ得ヘカラシメ運河ニハ長百三十米乃至百五十米ノ船ヲ同時ニ十五隻ヲ擊留セシメ得ヘク尙商業用トシテ面積三十八へくた一る七ノ平地ヲ充ツ

以上記載スル計畫ハ假ニ採用セラレタルモノニシテ戰爭ノ爲メ確定的設計ハ遲延シ之等ニ關スル調査研究ハ今尙繼續セラレ居ルヲ以テ詳細ノ設計ニ至リテハ多少ノ變更ヲ免レサルヘクも一るびえぬニ關スル計畫モ同様ノ狀態ニ在リ

工費豫算一億二千三百萬法ニシテ本工費中ニハ岸壁附屬ノ機械類及停車場工費ヲ含マサルモノナリ而シテ工費額ノ多大ナルト工事ノ長期ニ亘ルヘキヲ慮リざるせいゆ商業會議所ハ工事ヲ二期ニ分ツコトヲ決議セリ

本工事施行ノ順序ハ先ツえすた一灣ノ方向ニ長三百米ノ大防波堤ヲ延長スルモノナルカ其ノ水深三十五米乃至四十五米アリテ天然石ノ疊石堤トシ高潮位ヨリ基線下七米ニ至ル迄ハ混凝土方塊ニテ保護ス又他ニ大防波堤ヨリ分岐スル長百

參考資料 まるせいゆ港ノ擴張及べゝる湖からんと湖ノ改修

三〇

二十五米ノ横堤ヲ設ケ對岸ニテハまるせいゆヨリろゝぬニ至ル運河ノ防波堤ヨリ分岐スル長七百五十米ノ突堤ヲ築キ其ノ二者ノ間ニ幅二百米ノ水道ヲ殘スモノトシ且ツ繫船用浮標十一基ヲ設ケ船ノ岸壁ニ接近スルニ便シもゝるびえぬノ尖端ニハ燈臺ヲ建ツ

本工事ハ六箇年ヲ要スル見込ニシテ千九百十五年ニ於ケル見積工費約三千百萬法材料三百五十五萬立方米ヲ要スもゝるびえぬ平地ニ關スル部分及みらば一船渠ノ内設計變更ノ虞ナキ部分ノ工事ハ千九百十九年ヨリ起工シタルヲ以テ船渠全部ノ竣功モ予定ヨリ遅延スルコトナカルヘシ

まるせいゆ商業會議所ハ千九百十六年十一月七日みらば一船渠ノ建造費ニ當ル四千六百萬法ヲ差引キタル一億二千三百萬法ニ對シ其ノ半額六千五百五十萬法ヲ支出スヘキコトヲ承認シ右交換條件トシテ從來商業會議所ニ賦與サレ居タルぼく港 (Port-de-Bone) 及べゝる湖ノ課稅適用範圍ヲ擴ケ其ノ收入ヲ以テ擴張費ニ充當セムコトヲ要求セシニまるせいゆヨリぼく港ニ至ル區間及べゝる湖内ニテモ通行稅ヲ徵收スル權能ヲ商業會議所ニ賦與スルコトニ大藏大臣ニ於テ千九百十七年二月十八日許可シ工部大臣ハ同年末之レニ關スル法律ヲ公布セリ

(三) まるせいゆ港ヲ外海方面ニ擴張スル計畫案ト其ノ缺點

まどらゝく船渠ノ能力増加並ニ將來建設セラルヘキみらば一船渠ノ能力増加セラルト雖尙地中海ノ大港ナルまるせいゆ港ニ將來必然生スヘキ作業能力ニ充分ナリト稱スル能ハサルヘク現在既ニ其ノ岸壁ハ長一米ニ付キ年額六百噸以上ノ貨物ヲ取扱ヒ居ル状態ニ在リテ一方ニ於テハ目下船舶ハ一個所ニ碇泊シ居リテ舳ニ依リ船荷ヲ積却シスルノ止ムナキ窮境ニ居リ之レカ爲メ手數及費用ヲ増スコト大ナルモノアルじよえつと船渠ノ貨物消化ノ爲メニモ建造中ノ船渠ハ役立たハサルヘカラス加之まるせいゆニ於ケル多クノ會社ハ其ノ多年ノ期待ニ反シテ岸壁上ニ其ノ專用ノ場所ヲ得ル能ハサリシニ對シ一齋ニ非毀シツ、アル等諸種ノ事情ハ一層廣大ナル擴張計畫ヲ必要トシツ、アリ之ニ鑑ミまるせいゆ商業會議所ハ將來ノ必要ニ應スヘキ新計畫ノ研究ヲ爲セルカ東方ニ擴張セントセハもんとるどん (Montedon) 附近ニ建設スル

ヨリ他ニ適所ナク斯クスルトキハ甚シク中心地帯ヲ隔レ且ツ數十軒離隔シタル二個所ノ作業地帯ヲ形成スルコト、ナリ又西方ニ擴張セムト欲スレハ新前港完成後ト雖尙該前港トえずたゞ灣トノ間ニハ新船渠ヲ設ケ得ルノ餘地アルモ之レ港ヲシテ長サノ方向ニ無制限ニ延長スル大ナル不利アルト同時ニ岸壁ト陸トノ交通上廻轉橋ヲ架設セサル可カラサル爲メろーぬ運河ニ至ル貨物ニ支障ヲ來スノ不都合アリ又若シ新船渠ヲ以テろーぶ (Howe) ヨリせどらーぐニ至ル海面全部ヲ被フノ計畫ヲ採用セハえずたゞヨリじやねー岬ニ至ル間ノ斷崖ト運河トノ間ノ航路狭クナリ商品ノ搬出及到着ヲ確保シ能ハサルニ至ルヘシ餘程以前商業會議所ノ技師ハじよりえつと船渠ノ擴張ヲ計畫シタルコトアリ其レニ依レハ現在じよりえつと船渠ノ外側ニ大防波堤ヲ設ケ港口ヲ南ニ置キ之レニ依リテ岸壁ノ根元ニ於テ水深十三米ヲ有スル新岸壁四千二百八十米ヲ得且ツ該新船渠ノ北ノ境界ナル現在ノじよりえつと及臨港停車場兩船渠ノ外海岸壁ハ其ノ根本ニ於テ水深十米ヲ保ツ様改造シ又外港ト國民船渠トノ交通ニ便セム爲メ現在ノ外海堤防ニ幅六十米ノ口ヲ開ケ現況ニ於テハ内港ニ近ツクニハ北ノ口ヨリスル迂路ヲ取ラサルヘカラサル不利ヲ除キ一層大ナル船舶ヲシテ自由ニ内港ニ入ルヲ得ヘカラシムルモノナリキ

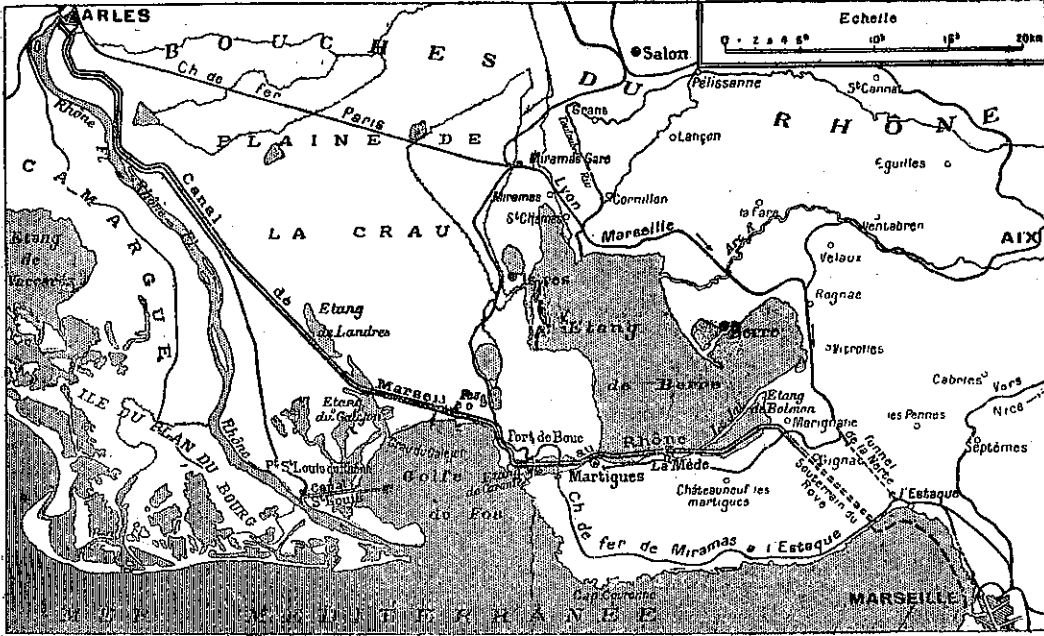
此ノ工費豫算一億二千四百萬法ニシテ工部大臣ハ千九百十三年九月一日此ノ提案ノ決定ヲ後日ニ讓ルコトヲ決議セリ前記計畫ハ常ニ波浪高キ海洋中水深十五米乃至二十米ニ於テ工事ヲ爲スコト、ナルモ政府ノ技師ハ右ニ關シテハ別ニ憂慮セサル如キモ他面ヨリ考フレハ此ノ計畫ニ依レハ其レ無キカ爲メニ商業上多大ノ支障ヲ來シツ、アリテ現ニ非常ノ熱心ヲ以テ其ノ増設ヲ希望シツ、アル平地ヲ得ルコト困難ナルト又廻轉橋架設ノ爲メ内港内ニ船ヲ廻航スルニ障害トナリ外海岸壁上ニ荷卸サレタル貨物或ハ荷積ノ爲メ同所ニ運搬スヘキ貨物ハ充分ニ消化サル、コト不可能ナル缺點アリ斯クテ最近數年來外海ニ擴張スル計畫ノ贊成者ハ漸次減少シぼーく港及べーる湖ノ改修論者ニ傾キツ、アルヲ見ル

(四) ぼーく港かろんと (Caronte) ぼるもん (Bolmon) べーる湖 (Berte) 方面ニ對スル擴張計畫

べーる湖ハまるせいゆノ北西ニ當リ水面積約一萬五千六百へくたゝる周回約六十七軒ヲ有スル廣大ナルモノニシテ三角

第二圖 あーしヨリまるせいゆ=至ル地方ノ平面圖

(まるせいゆヨリの一ぬ=至ル運河ノ路線及ヒ將來ノまるせいゆノ附屬港ナルぼーく港かろんと湖ヲ示ス)



參考資料 まるせいゆ港ノ擴張及べーる湖かろんと湖ノ改修

形類似ノ形状ヲ成シ其ノ水深ハ頗ル不規則ニシテ東側ハあるく河 (Aix) の一りる一ぶる河 (Thoulon) ノ寄洲ノ爲水底ハ泥土ニ埋レ居ルモ西側ハ峻嶮ナル斷岸屹立シ湖ノ中央部ハ水深九米乃至十米アリテ此ノ小海ノ全水面積ノ三分ノ一強ハ水深九米ヲ保チ湖ノ南側ハねるす (Nerte) 連陵ニ依リ地中海ヨリ來ル風ニ對シ八乃至十料ノ間ハ庇護セラル本湖ハ其ノ南西端ニ於テかろんと小湖ヲ經テ海ニ聯絡シ此ノ水道ノ出口ハ北西ニ向ヒ其所ニ小ベにすト稱シ畫家ノ好愛スル美シキまろち一ぐす市 (Martignes) 在リ

(一) べーる湖及ヒぼーく港利用ニ關スル舊計畫

べーる湖ヲ利用セムトノ考案ハ昨今始マリシ者ニ非スこるべると (Colbert) ハ千六百六十二年セーにゆれー (Seignelay) ハ千六百八十二年ぼーばん (Vauban) ハ千六百九十一年何レモろ一ぬヨリまるせいゆニ至ル船路ヲ發表セルモあーる (Arles) ヨリぼーくニ至ル運河ノ計畫ハ十九世紀ノ初頭ニ至リテ初メテ企テラレべーる湖ヲ迂回シぼーく港ニ達スル航路ハ千八百四十二年ニ至リ初メテ稱ヘラレタリ然ルニかろんと湖ハ泥土ニ埋レ航路トシテ不適當ナルト同時ニぼーく灣ノ入口ハ暗礁ニ依リ阻止セラレ居ルヲ以テ計畫ハ昔ニ

返リ航路ハペーの湖迄延長セラレサルヘカラス此ノ計畫ニ基キ施行セラレタルモノハ千八百六十五年乃至千八百七十三年ノ改修ニシテぼーくヨリまるちーぐすニ至ル運河ハ水深三米ヨリ六米ニ幅ハ十五米ヨリ三十一米ニ急速ニ擴築セラレタルモ之等古キ計畫ハ總テ根本ニ於テ過レルモノニシテろーぬ運河ハ當初ヨリ徹底的ニまるせいゆ港ニ到達スルコトヲ目的トスヘカリシナリ

人ノ知ルカ如クまるせいゆヨリろーぬニ至ル運河ハろーぶノ大隧道ヲ以テペーの湖トえすたーく灣トヲ聯絡スルモノナルヲ以テ本工事完成ノ曉ハペーの湖ハ其ノ南側岸ノ延長十軒ノ運河ノ仲介ニ依リ自然まるせいゆ港ノ附屬物トナルニ至ルヘキヲ以テ該運河ノ工事ハまるせいゆ商業會議所カ其ノ建設ノ實行ノ任ニ當ルヲ至當トス本改修計畫ニ依リペーの湖ハ海ノ航路ニ對シ開口ヲ得ルモ海洋ノ大船舶ヲ容ル、ニハ尙足ラス將來ト雖之レ不可能ノ事ニ屬スルモノト認メラル

(二)ペーの湖ノ作用

ペーの湖ノ作用ハ多種多樣ナリ千九百十六年六月二十二日代議士じらーど氏 (Girard) ハ下院ニ提出シタル決議案ノ提案ニ際シ本湖カ獨リ暴風ノ際ノミナラス戰時ニ際シテモ亦りをん灣又ハえすたーく灣ニ餘儀ナク碇泊シツ、アル船舶ニ對シテ避難港トシテ重要ナル役ヲ勤ムルモノナルコトヲ明ニシ「本湖ハ我商船及ヒ艦隊ニ取リテハ時ニ無比ノ蔭蔽所」トナルモノナルコトヲ述ヘタリ尙軍港ノ改良ニ關スル千九百一十一年三月二日ノ法律ニハペーの湖ノ改良工事ヲモ包含シタルモノナリシニ千九百九年四月二十日ニ於ケル海軍大臣ノ決定中ニハ洩レ居タルヲ見ル然ルニ戰爭ニ依リ從來ペーの湖ヲ等閑ニ付シタルコトノ非ナリシヲ覺ルニ至レリ即チ千九百十六年二月一日及同月二十二日ニ於ケルえすたーく灣内ニ在リシ船舶ノ水雷ニ依ル爆沈ハペーの湖ノ船付キノ改良工事費ナル現在ノ見積額六百萬法ヨリモ損失ノ多大ナルモノアルヲ目撃セリ

第二ニペーの湖ハ其ノ附屬物タルかろんと及ヒぼーく港ト共ニ最初ノ計畫通り商業上ノ地歩ヲ占メムコトヲ熱望シ居レリ

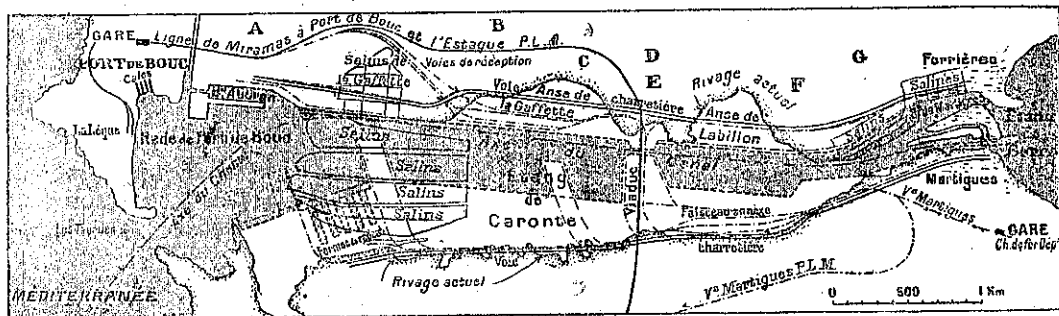


べーる湖カ風土病ニ係レルまるせいゆ港ニ取リテ大規模ノ下劑ノ役ヲ爲スモノナルコトヲ戰爭中ノ事實ニ依リ世人ハ充分ニ認メ得ヘクばーく港ノ長二百五十米ノ岩壁ト鐵道ト相待チ尙ホまるせいゆ商業會議所ノ二基ノ捲揚機トノ合理的利用ニ依リ同所ニ於テ千九百十三年ニハ十萬六千三百十四噸ノ貨物ノ積卸シニ應スルコトヲ得千九百十八年ニハ十六萬百五十一噸ヲ扱ヒ得タルヲ見ル若シかろんと及ヒべーる湖ニ海洋船舶ヲ容ル、ヲ得タランニハ如何ナル程度迄まるせいゆ港ノ貨物狀況カ緩和セラレタルヘキカ思ヒ半ニ過クルモノアリ

みらばー船渠カ大吃水船舶ヲ容ル、モノタランニハえすたーく方面ニ進ムニ從ヒ水深ノ急激ニ増大スルまるせいゆ灣ニ新船渠ヲ設クル工費ニテ中等吃水ノ船舶ヲ收容スル目的ヲ以テべーる湖及かろんと湖ノ沿岸ニ新岸壁ヲ建造スルハ寧ロ利益ニ非スマトノ千九百十九年ノふえるなんど・ぶりゆん氏 (Fernand Brun) ノ報告ハ正鵠ヲ得タル觀察ト言フヘシまるせいゆヨリろーぬニ至ル運河近ク完成セハべーる湖ハまるせいゆノ水ト通シ同時ニ内地航路網トノ聯絡關係有ル等無比ノ利便アルヲ以テ後年ニ至ラハ商業ハべーる湖ノ周圍ニ發展スルニ至ルヘク斯クテべーる湖ハふらんすノ中心、りよん、瑞西、あるさすろーれんぬ及ヒ北海トモ密接ナル關係ヲ生スルニ至ラム内地航路ハろーぬ河ニ依リりをん迄航行シ得ヘク其レヨリさをぬ河 (Saône) ニヨリテあるさす地方ニ或ハりん (Rhin) 流域地方ニハろーぬヨリりんニ至ル運河ヲ利用シ得ヘク又ぶーるごーにゆ (Bourgogne) 及ヒよんぬ (Yonne) 運河若シクハせんところ運河 (Centre) 又ハるあーる (Loire) ニ於ケル横斷運河或ハるあんにゆ (Loire) 運河ニヨリテセーぬ (Seine) ニ達シ得ヘク又佛蘭西ノ中心地方ニ到ルニハるりー (Berry) 運河ヲ用ヒ北部地方及ヒべるじゆーむ方面ニ到ルニハるさをぬニ於ケルまるぬ運河又ハ東部運河或ハ北部佛蘭西ノ諸運河ヲ利用シ得ヘシ

べーる湖ト後方土地トノ鐵道聯絡ハ完備シアリテ P. L. M. 會社ハ戰爭ノ初頭みらます (Miramas) ヨリえすたーくニ至ル線路ヲ開始シタルヲ以テべーる湖ノ西岸ヲ廻リみらますヨリろにやつく (Cognac) 又ハまるせいゆニ至ル湖ノ東岸線路ト聯絡スルニ至レリ故ニべーるニ於テ運送船ヨリ貨車ニ積替ヲ行ハ、工業上多大ノ利便ヲ得ヘシ

第三圖 ぼーく港まるちーぐす間かるんと湖改修計畫平面圖



參考資料 まるせいゆ港ノ擴張及べーる湖かるんと湖ノ改修

- A=きゆーるまん工場
- B=きゆーるまん會社所屬土地
- C=ぐらむもと製銅會社
- D=海運會社
- E=るーべー・えどてつき製油會社
- F=まるせいゆ大事業會社
- G=ぼーもとあす化學製品會社

まるせいゆ市ハ其ノ市區ノ非常ナル發展ヲ爲スニモ拘ラス工業地ハ市街地ノ一定區域ニ限ラレ新工場ヲ設ケムトセハ岸壁ヨリ十乃至十二軒遠隔シタル位置ニ於テセサルヘカラス之レカ爲メ小車運搬ノ必要ヲ生シ生産價格ヲ高カ、ラシムルヲ以テ他市トノ競争ニ於テ頗ル不利ノ状態ニ在ルニ反シベーるニ於テハ工業地トシテ充分ノ餘地ヲ有シ且ツ鑛物、油種、米、砂糖及工業上大關係ヲ有スル石炭等ノ原料品ハ荷積棧橋上ニテ直チニ受渡シスルヲ得無用ノ手數ト費用トヲ要セス加之其ノ加工品ハ佛蘭西ノ消費ノ中心地域、殖民地及諸外國ニ向ツテ發送シ得ヘシ又「地中海沿岸電力」組織中ニハ本湖ヲモ含ミ將來建設サルヘキ工場ニ必要ナル動力ヲ供給シ得ヘキコトハ特記シ置クノ價値アルヘシ

以上述フルカ如クベーる船渠ハ實ニ中繼港トシテ又輸出市場トシテ工業港トシテ將又避難港トシテノ四ツノ使命ヲ充タスニ足ルノミナラス造船場トシテ賞嘆スヘキ好適地ニシテ貨物船建造用ノ造船所十個所乃至十二個所ヲ設クルニ足ルモノニシテ既ニぼーく港及ヒまるちーぐすニハ造船所ノ設ケラレタルモノアリテ尙他ニ計畫中ノモノ二三有リ

終ニ佛蘭西瑞西間ノ中繼港トシテ特ニ充用スル目的ヲ以テ建設スル計畫ナリシ「瑞西ノ港」ハ其ノ豫定地ナルせつと (Ces) ニ之ヲ設クルヨリモ寧ロベーる湖ニ特ニ計畫スルヲ優レトリトセスヤ研究ノ價値アルモノト信ス

(三) ぼーく港かるんと湖及べーる湖ニ關スル技術上ノ改修計畫

千九百十六年二月一日まるせいゆ商業會議所ハ避難港トシテノベーる湖ノ改修

ニ關スル研究調査ヲ再ヒ開始スルコトまるせいゆヨリろーぬニ至ル運河ノぼーく、まるちーぐす間ノ工事ヲ繼續スルコト並ニ日々増加スル必要ヲ充分満足セシメ得ル様努力スルコト等ニ就キ強硬ナル要求ヲ爲シタルカ翌年二月十七日工部大臣ハぼーく港かろんと及ヒべーる兩湖ヲ一括シテ調査研究スヘキヲ命シタルニ同年六月九日主任技師べぞーると氏 (Bezanth) ハ之ニ關スル草案ヲ提出シ同年十二月工部省高等評議會ハ之ヲ受理シ超エテ千九百十八年二月三日ニ至リ工部大臣ハ次記三件ノ研究ヲ命セリ其ノ一ハべーる湖ニ接近スル爲メノ運河ニ關スル件ニシテ第二ハぼーく港ニ實施スヘキ工事ニ關スル件第三ハぼーくトまるちーぐす間ノかろんと湖ノ北岸ニ設クヘキ工作物ニ關スル件ナリ吾人ノ知ルカ如ク下院ハぼーく港及ヒべーる湖ノ具體的改良工事ノ設計ノ準備ヲ爲スコトヲ要求シタルヲ以テべぞーると主任技師ハ千九百十八年十月七日大臣ノ手許迄其ノ確定的設計書ヲ提出セリ

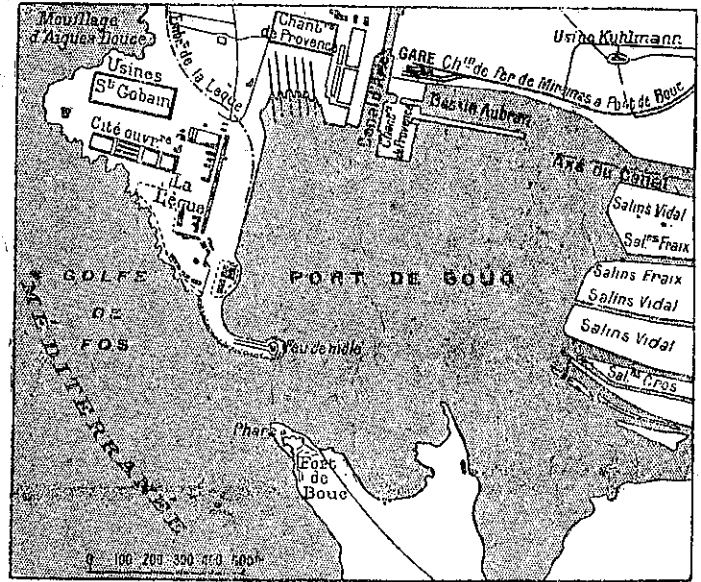
### 1° ぼーく港ノ改修

かろんと湖ノ港口水道ハ其ノ水深六米半ニ過キスシテれく (Legue) ニ於ケル其ノ岸壁ハ長百米ノ貨物船二隻又長百五十米乃至二百米ノモノナレハ一隻ヨリ繋留シ能ハサルヲ以テ改修計畫ニテハ接近水路ノ水深ハ八千噸ノ船舶ノ出入ヲ自由ナラシムル爲メ十米ニ浚深セラル、モノトス從テ海峽航行ヲ防害スルヲすく (Easque) ニ在ル暗礁ハ取拂ハルヘク港ノ東部及南岸ノ一部モ亦基線下十米ニ浚深セラルヘク斯クテ船舶ハ南西ヨリ北東ノ進路ヲ取り航行シ得之ニ接續シ半徑千米ノ屈曲水路ヲ設ケ其ノ他れくニ於ケル岸壁ハ其ノ延長ヲ五百二十五米ニ擴張スルモノトス

### 2° 海中ニ於ケル水道

海中水道ノ水斷面積ハ最大船舶ノ主筋骨斷面ノ四五倍大ナルヲ要スまるせいゆ市ノ浮標ニ繋留サル、最近ノ船舶ハ長百六十一米幅十八米八三吃水八米八ヲ有スルヲ以テ本水道ノ基線下十米ニ於テ幅五十米基線上二十米ニ於テハ其ノ斜面ノ法肩ニテ兩岸距離百二十米トスル豫定ニシテ斯クスルトキハ平水位(基線上〇・三五米)ニ於ケル水斷面積八百五十五平方米ト成ル之レ幅十九米吃水九米ノ船ノ水中ニ没入シタル斷面積ノ五倍ニ相當スルモノナリかろんと湖ノ導水路ハ一樣

第四圖 ぼく港改修計畫平面圖



ニ幅四十米トシ P. L. M. 會社ノみらます・えすたーく線ハかる  
 んトノ廻轉橋ニ依リ水道ヲ横斷スルコト、ナルヘク又延長百四十  
 米ノ北岸々壁ハさゆゝるまん會社 (Kuhlmann) ニテ建設スルコト  
 ヲ認可セリ而シテ此水道ハ眞直ニ三籽以上整理セラレ之ニ續クニ  
 半徑千米ノ屈曲部ヲ以テシ而シテまるちぐすノ航路ニ至ルモノ  
 トス又運河ノ南北兩岸ニ於ケル平地ハ操車場ヲ設クヘキ北岸ノ一  
 部分ヲ除キ他ハ全部其ノ幅ヲ百二十米トスヘク北岸平地ニハ幅三  
 十米ノ車道ヲ殘シぼくヨリまるちぐすニ至ル電車及複線ヲ布  
 設シ得ル普通鐵道ヲ設クヘシ此ノ鐵道ハ將來布設サルヘキ工業用  
 引込線ノ幹線タルヘキモノナリ

3° 運河ノ岸

米ニ改メタリ其ノ理由ハ陸橋下流ノ運河ニハ延長千四百米ニ亘ル海峡ヲ存スルコト、ナルヲ以テ潮流ハ特ニ急トナリ又  
 上流岸壁又ハペーる湖ニ航行スル汽船又ハ運送船ハ岸壁ニ沿ヒ碇泊シ居ル夫等ト交又セサルヘカラサル場合在ルニ依リ  
 狭キニ失スト言フニ在リ運河ノ北岸ニハ P. L. M. 會社ノ石炭置場ヲ設クルコト、ナルヘク之ニ就テハ既ニ政府ノ同意  
 ヲ得居レリ又ぼく港ニハ大港ニ必要缺クヘカラサル修理船渠ヲ設クルコト、ナルヘシ

本工事ハ特殊ノ組織ヲ以テ遂行セラル、モノニシテ沿岸土地ノ所有權ハ既ニ夫々確定シ居リ其ノ所有權者ハ法線ニ從ヒ  
 各自ニ岸壁ヲ築造スルモノトシガふえつと (Gallie) かんぼー (Campaure) らびよん (Labillon) 等ノ小灣ハ運河ノ浚渫

參考資料 まるせいは港ノ擴張及ペーる湖かると湖ノ改修

ヨリ生スル土砂ヲ以テ埋立テラル、モノトス  
 べぞーると氏ハかるんと陸橋下流南岸ニ造船所及修理船渠ヲ設クル計畫ヲ爲シタルモ運河ノ軸ニ平行シ幅二百米長千五百米ノ波止場ヲ設クルコトハ接近困難ニシテ利用亦六ツカシク尙長千四百米幅百五十米ノ造船渠ハ其ノ幅ヲ五十米乃至百米ヲ増スニ非ラサレハ實用的ナラサルコト並ニ修理船渠ト石油船渠トヲねるす方面ニ設置スルハ其等ト鐵道トノ聯絡關係ニ困難ヲ來スモノナリトノ高等評議會ノ議論アリテ斯ク連續的ニ造船渠ヲ設クルハ中繼港トシテハ適當ナランモ工業港ノ發展上ニハ如何アルヘキカ此ノ際ハ寧ロ將來設ケラルヘキ工場ト直接連絡ヲ爲シ得ヘキ工事ヲ其ノ都度起工スルカ如キ最モ簡單ナル方式ヲ採ルヲ利トセスヤトノ議論ヲ生シ高等評議會ハ南岸下流部分ノ設計ノ再調査ヲ要求シ此ノ決定ヲ後日ニ讓ルコトニ決セリ

かるんと陸橋ノ上流南岸ニハ鐵道操車場ヲ設クヘク又まるちーぐす方面ノ岸壁ハ船付キニ便シ其ノ北岸トノ距離ハ船ノ自由ニ廻轉シ得ル程度ニ大ナラシムルモノニシテ其ノ部分ノ工事ハ北岸同様民間ノ企業ニ悉セ法線ニ倣ヒ各自ニ岸壁ヲ築造セシムルモノトス前記岸壁用鐵道ハ何レモ一般鐵道ト連絡シ北岸ニ於テハ操車場及ヒ P. L. M. 會社線ニ接續シみらます線ニ依リぼーく港又ハえすたーくニ到達シ得ヘク南岸ニ於テハ操車場ト岸壁鐵道トハ P. L. M. 會社ノまるちーぐす停車場及ヒまるちーぐすヨリばす・て・らんしいる (Pas-des-Laniers) ニ至リ再 P. L. M. 會社線ニ接續スル縣營鐵道停車場トニ二重聯絡アリ又兩岸ノ鐵道線路ハ運河上ノ廻轉橋上ニテ水平ニ接續セラル、モノトス

終ニ工部省ノ高等評議會ハ連續岸壁トスルヨリモ寧ロ岸ニ沿ヒ海底ニ斜面ヲ有スル荷揚棧橋ヲ設クルヲ優レリトセリ

以上ノ處分ニ關シテハ或部分ヲ保留シ他ハ全部一括シテ千九百十八年二月三日附ヲ以テ工部大臣ノ認可ヲ得タリ

次上述ヘタル計畫實現セハまるせいゆ港ノ設備ニ水面積二百ヘクタール岸壁延長一萬三千米平地二百五十ヘクタールヲ補給スルコト、ナリ且ツ其ノ附屬港トシテ作用スルニ至ルヘキカ故ニ其ノ結果ハ能力ニ於テ次表ノ如ク倍加スルヲ見

名	稱	ほーく港、かろんと港、まるちーべり港	まるせいゆ港(舊港ヲ含ム但シ建造中ノもの)
船渠及ヒ水道	計	140ヘクター	176ヘクター
	水面積	60	18
陸揚テ、荷積ニ利用シ得ヘキ部分	計	200	194
	岸壁延長	12,000米(れくノ岸壁) 600米ヲ含ム	15,000
陸揚テ、荷積ニ利用シ得ヘキ部分	計	2,000	6,000
	岸壁延長	14,000	24,000
箱	計	170ヘクター(碼頭停車場)	55ヘクター
	地	80	40
置	計	25	80
	場		

かろんと湖ハろーぬ運河ノ完成期ナル近キ將來ニ於テ利用セラル、ニ至ルヘキヲ以テ一般計畫ニ抵觸セサル範圍内ニ於テハ貨物狀況ニ應シ適當ナル設備並ニ改修ヲ爲スコトヲ關係者ニ許可スル形式ヲ取ルニ至ルヘク之ニ關シふゑるなど・ぶりゆん氏ハ次ノ如キ意見ヲ有ス即チ亞米利加及ヒ獨逸ニ於テ爲シツ、アルカ如ク國家ハ公衆ノ利益トナルヘキ一般工事ヲ施行スルニ止メ適當ナル設備ヲ迅速ニ整ヘル爲メ民間ノ企業ヲ許ス方針ヲ採用セハ其ノ利便大ナルモノアルヘク之レ他面ニ於テハ財源ノ不足ヲ補フ唯一ノ良策ナルト同時ニ許可工事ノ實施及利用ニ依リ正當ナル利益ヲ民間ニ與ヘ且ツ其ノ工事施行者ニハ稅關免除ノ報酬トナルモノト信スト

今港ノ平均荷役ヲ岸壁一米ニ付年五百噸ト見積ルトキハ將來かろんと港ニ於テハ年額六百五十萬噸ノ貨物ヲ取扱ヒ得ヘク又完全ナル設備ヲ爲スニ於テハ其ノ取扱量ヲ前記數字ヨリ増加シ得ヘシ P. I. M. 會社ノミニテモ年額八十萬噸乃至百萬噸ノ石炭ヲ取扱フヘキ豫想ナリ

(四) 工費豫算

工費豫定見積額ハ二億萬法ニ達シ内ぼーく港ニ關スル工費二千六百萬法運河二千四百萬法沿岸工事費一億五千萬法其ノ

参考資料 まるせいゆ港ノ擴張及ベーる湖かろんと湖ノ改修

参考資料 まるせいゆ港ノ擴張及ペー湖かるんと湖ノ改修

詳細ハ次表ノ如シ

1° ぼーく港ノ改修費

港口、水道及擴張スヘキ船渠ヲ基線下十米ニ浚深スルモノトス

掘	壁	地	雜	合
岸壁延長工費	岸壁延長工費	地費	雜工費	計
4,800,000 立方米	475 米	20 へクター		
19,000,000 法	2,850,000	1,950,000	2,200,000	26,000,000 法

2° ぼーく港なるちーぐす間ノ運河ノ擴張及浚深工事費

千九百十七年十二月十二日附ヲ以テ認可サレタルなるちーぐすノ通路ノ工事費ヲ含マス

浚	築	積	地	合
浚	堤築設工費	堆積工費	平地	計
3,850,000 立方米	2,900	55,000	80 へクター	
17,500,000 法	290,000	385,000	2,600,000	1,725,000
		1,500,000		24,000,000 法

3° 沿岸工事費

掘	岸	堤	橋	渠
掘	岸	堤	橋	渠
10,400,000 立方米	12,000 米			
38,000,000 法	72,000,000	2,000,000	24,000,000	

前掲二億法ノ外ニ岸壁用機械類及ヒ上屋ノ費用トシテ總額ノ五十分ノ一ヲ加算スルヲ要スヘク尙本工事ハ仕事ヲ何段カニ區分スルニアラサレハ遂行シ能ハスシテ即チペー湖ニ接近スル運河ノ水深ヲ増シ幅員ヲ擴ケル工事ニ對シテハ工事ヲ三段ニ分チ最初ニ水道及ヒペー湖並ニ運河ノ水深ヲ基線下八米ニ浚渫シ次テ被許可人ノ建設スル岸壁及ヒペー湖ニ接近シ得ル様運河ノ底幅ヲ二十五米ニ擴築シ最後ニ運河ノ水深ヲ基線下十米ニ掘リ下ケ其ノ幅モ亦五十米ニ仕上クルモノトス

まるせいゆ商業會議所ハ運河ノ幅員ヲ擴ケ水深ヲ增加スルニ要スル費用ノ全額ナル二千四百萬法ヲ支出スルモノトシ候  
 一 港改修費ナル二千六百萬法ハ國庫ト商業會議所ニテ折半負擔シ前記第一種ノ工事ニ要スル費用ハ千九百三年十二月二十四日ノ法律ノ適用ニ依リ募集資金ノ方法ヲ實施スヘク(千九百十八年十月三十日ノ決議)第二種ノ工事ニ對シテハ千九百十八年十月三十日商業會議所ハ分擔金ノ一半ナル千三百萬法ヲ拂込ムコトヲ命セラレタリ

まるせいゆ商業會議所書記長ゆーべると・じらうど氏(Hubert Girard)ハ港内ニ屬スル運河ノ改修費即チ岸壁底部ノ浚渫工事費ヲ七八百法ト見積レリ斯クシテ商業會議所ハ前記第一段ノ工事ニ對シテ約一千萬法まるちーぐす水道ニ對シテ四百三十五萬法第二段ノ工事ニ一千萬法第三段ノ工事ニ對シテ一千五百萬法ヲ支出セサルハカラサルモノトス  
 下院ニ提出セラレタル技術上並ニ財政上ニ關スル委員會ノ提案ニ對シ昨年七月下院ハ之ニ承認ヲ與ヘ同時ニまるせいゆ商業會議所ニ對シ候一 港及ヒペー湖ヲ含ム通行稅適用地域ニ於テ徵收スル通行稅ノ全額ヲ會議所ノ負擔スヘキ債務ヲ履行スル爲メニ充用スルコトヲモ認可セリ尙下院ハ其ノ説明委員ノ口頭ヲ以テ候一 港ノ工事ト相待チテかろんと池ノ運河及ヒ沿岸工事ヲモ同時ニ著手スヘキ必要アルコトヲ注意シ且ツ政府案ニハペー湖ノ施設ニ關シ何等ノ説明ナキ



ヲ指摘シ此ノ小ナル内海ノ利用ニ關シテハ充分ノ考慮ヲ拂フヘキモノナルコトヲ警告セリ之ニ關シ第九條ニ次ノ如ク記載シアリ

カロンと、ペー湖ノ沿岸ニ同時ニ施行スル臨海機械並ニ工事ヲ包含スル第六號第三項ニ關スル設備ハ其ノ性質及ヒ重用程度ノ如何ニ從ヒ議院ノ認可ヲ受クヘシ云々

上院ハ一ノ修正モナク原文ノ儘下院ノ決議ヲ採用シ千九百十九年十月二十六日ノ官報ヲ以テ先ニ記載シタル指示ニ基キみらば一船渠ノ使用及ヒカロンと湖ノ改修條件ヲ確定スル法律ヲ公布セリ

(五)カロンと湖ニ於ケル民間ノ企業

カロンと湖ニ民間ノ企業ヲ許可スルコトニ就テハ未タ官權ノ決スル所トナラス戰爭ノ初頭ニ於テセーんとゴベーン會社 (Saint-Gobain) 及ヒまゆーるまん會社ハ廣大ナル土地ヲ獲得シ其所ニ窒息瓦斯及ヒ硫酸ノ生産設備ヲ設ケタルカ之等工場ハ將來トモ存續スヘクまゆーるまん會社ハ尙らびよん小灣ノ北ニ當リ新ニ平地ヲ獲得シぼーくニ在ル其ノ工場ニ面スル運河縁ニハ岸壁ヲ築造セリ又最新方式ノ機械ヲ具フル工業又ハ倉庫或ハ工場等ニ對スル工業地域ヲ運河ノ北岸ニ分割設置スルニ至ルヘク其ノ主ナル關係會社ヲ舉クレハ P. L. M. 會社、一般海運積替會社油及織物ヲ製造スル目的ニテ計畫サレタルローベー・エ・ド・ツ・オ製油會社 (Fonboix et d'Odessa) なるせいゆ大事業會社、ぼーもんとあす化學製品會社 (Beaunottoise) 等ニシテ運河ノ南岸なるちーぐす方面ニハまるちーぐす土地會社ノ創設ヲ見ルニ至ルヘシ千九百十六年十一月二十八日一般企業會社、まるせいゆ大事業會社及ヒ鐵筋混凝土大事業會社ヨリ成ル同盟會ハカロンと湖兩岸ノ設備ヲ爲スコトヲ官權ニ出願シ其後千九百十七年三月二十七日該同盟會ハふとーじゆろーゆ兄弟企業會社 (Fongelolle) フモ加盟セシ運河兩岸ノ工事ニハ論及セス單ニ湖ノ北岸ニ在ルがふえつとらんぼー及ヒらびよん各小灣ノ改修及ヒ長七八百米ノ岸壁(内四百米ハ P. L. M. 會社ノ石炭ノ陸揚ニ充用セラル、モノトス)ヲ直チニ築造シ度キ旨請願セリ尙前記同盟會ニ海運會社、海上積替會社ナルまるせいゆ所在ノ二會社モ加盟シがふえつとらんぼーニ相當スル部分ノ岸壁延長千百

米ノミノ工事施行方ノ認可ヲ千九百十七年九月十四日及ヒ同十月三十日ノ兩回ニ亘リ請願シ其ノ認可期間ヲ六十年トセリ同時ニ工業土地會社ト稱スル一會社ハ千九百十六年十月二十日らびよん灣内ニ其ノ作業ニ使用スル船渠ヲ築造セムコトヲ請願シ又ろいべい・えどてつ製油會社ハ千九百十七年八月十三日及同九月二十日らびよん灣ノ前面ニ其ノ専用岸壁ヲ又らびよん灣内ニハ公衆用岸壁ヲ設クルコトニ願意ヲ制限シタル認可ノ申請ヲ爲セリ

他面ニ於テハ P. I. M. 會社ハがふえつと同盟會ト次ニ掲クルカ如キ主要條項ヲ含ム所ノ契約ヲ締結セリ即チ(一)岸壁七百米並ニ水深八米ノ接近運河ノ建設(將來水深十米ニ浚渫スヘキモノトス)(二)石炭船四隻ヲ同時ニ荷揚ケシ得ヘキコト(三)三萬噸ヲ貯藏シ得ヘキ置場ヲ設クルコト(四)最初ノ岸壁長四百五十米ノ實施期間ヲ認可ノ日ヨリ四箇年ニ完成スルコト(五)岸壁及機械類ノ設計ハ P. I. M. 會社ニテ管理監督スルコト(六)最初ノ長四百五十米ノ岸壁ニハ會社ノ船カ優先權ヲ有スルコト(七)陸揚噸數ハ年額六十萬噸タルヘキコト等ナリ

既記諸種ノ要求アルニ鑑ミ千九百十九年二月二十日運河ノ浚渫ヨリ生スル土砂ヲ以テニ小灣ヲ埋立ツル計畫ヲ調査スル爲メ混合協議會ヲ開キ同年七月十六日ニハ討論會ヲモ開催セリ其ノ結果大技師ばたーど・らずりえーる氏 (Inspector Général M. Batard Ravazière) カ高等評議會ニ之等諸種ノ設計ヲ持チ行クコト、ナリタルカ高等評議會モ右ノ意見ニ贊成セリ

かろんと陸橋ノ上流ニ鑛物専用ノ設備ヲ爲スヘキヤ否ヤハ大問題ニシテ從來佛蘭西ノ海岸ニハ鑛物専用港ニシテ迅速ナル取扱ヒヲ爲シ得ヘキ棧橋及ヒ長期間貯藏ニ耐フル設備ヲ有スルモノ一モ存在セス右設備ニハ次ニ記載スルカ如キ條件ヲ具備スルヲ要ス

- 1° 海洋船舶ト運送船トノ間ニ積卸シノ作用ヲ爲ス浮動設備
- 2° 貯藏場ヨリ取出シ貨車又ハ船ニ積ミ込ミ又ハ積替フル完全ナル機械
- 3° 貯藏品置場但シ注意ヲ要スル或種ノ鑛物ニハ屋根ヲ有スル建物即チ Silo 又ハ土間

參考資料 まるせいゆ港ノ擴張及ペー湖カロンと湖ノ改修

四四

佛國ノ港ハ何レモ多少ノ缺點アリテ完全ナル設備ヲ有スルモノナク其ノ鑛物取扱ヒニ關スル設備ニ至リテハ全ク原始的ニシテ只僅カニ Sio 及ヒ鑛物ヲ岸壁上ニ卸ス爲ノ斜面並ニ荷卸用跳橋 (Bascule) ヲ備ヘ其ノ一箇年ノ能力十萬噸ニモ充タサルばんどる港 (Port-Verdne) ニ於ケルばれんちん (Valentin) ノ設備ヲ舉ケ得ルニ過キスシテ其ノ他ニぢえれつと (Dielles) ヨリ鐵鑛ヲ搬出スル爲メ獨逸人ちつせん (Thyssen) ノ計畫シタルぢえれつと沖ノ設備アルモ戰爭中海波ノ爲メ其ノ一部ハ破壊サレタリ佛國海岸ニテモろつてるだむ、はんぶるぐ、ベのすあいれす及ヒ合衆國等ニ在ルモノト類似ノ鑛物用特別港ヲ設ケムコトヲ希望スルモノナリ完全ナル機械ヲ以テスレハ一時間五百噸又一隻分ノ船荷ハ二十四時間内ニ取扱ヒ得ヘキニまるせいゆ港ニ於テハ普通ノ機重機ニ満足セサルヘカラスシテ昇降函ヲモ有セサル狀況ニ在リ故ニ作業ハ甚シク遅延シ船ニ三臺ノ機關ヲ用ヒ十時間一日ニ陸揚ケ四百噸ヲ超ユル能ハス四千噸ノ船ノ荷役ヲ爲スニハ八日乃至十日間ヲ要ス民間ノ施設ニ至リテハ更ニ特示スヘキ設備ナク Sio 置場等何等舉クヘキモノナシ然モまるせいゆ港ハ將來鑛物ノ爲メ特ニ發展スヘキ好位置ニ在リテあるぜりあノ百萬噸ノ鐵鑛並ニちーえんち (Onenza) 及ヒぼーかんだ (Bon Kanda) ノ鑛物ヲモ早晚取扱フヘキ運命ニ在リ若シ夫レ其ノ產地ノ散在シ居ルモノヲモ考慮セハ次ニ掲クルカ如キモノアリ

I 鉛ハ特ニスすぺいん、ちーすとらりあ、伊太利、ぎりしあ、支那、あるぜりあ、ちゆーにす等ニ於テ採掘セラレ之等諸國ハ何レモまるせいゆ港ニ貢獻スルモノニシテあるぜりあ、ちゆーにす、ぎりしあ、印度支那、及ヒ支那ハ亞鉛ノ相當噸數ヲ供給シ、錫ハ專ラでとろいと及ヒちーすとらりあ又ハ極東諸國ヨリ來リ、佛國ニ銅ヲ供給スル國トシテハすぺいん、日本、ちーすとらりあ及ヒ少量ナレトモあるぜりあヲ舉クヘクがあんちもにーハ就中支那、日本、ちーすとらりあ及ヒあるぜりあニテ採掘セラレ、水銀ハ多ク支那及ヒ伊太利ニ産シあるぜりあニ於テモ多少ノ産額アリ、終ニ滿庵ハ印度、日本、すぺいん及ヒとるこニ富ム右ノ事情ニ依リ地中海ノ諸港ハ佛蘭西ニ仕向ケラル、鑛物輸入ノ爲メ其ノ擴張ハ一層大規模ニ計畫サルヘキコトヲ推論シ得ヘク尙あるぜりあニ於テハ有望ナル新鑛脈ノ採掘許可ヲ得既ニ其ノ準備作業ニ着

手シタルモノアリテ急速ナル發達ヲ爲スヘキ見込アルコトヲ注意スルヲ要ス又、ぶろばんす (Provence) ノ含鐵水酸化礬土ニ依リまるせいゆノ輸出方面モ亦發展スヘキモノナルヲ豫想シ得ヘシかろんとニ特ニ設備シタル一港ヲ設ケナハ原料ノ着荷ニ由リ恩澤ヲ受クル諸國並ニ鐵道又ハ河路ニ依リ該港ト聯絡ヲ有スル隣國諸市場ノ受クル利益ハ莫大ナルモノアルヘキヲ信ス

(六) ベー湖及ヒぼるもん湖ニ關スル計畫

議會ノ希望アリシニモ拘ラスベー湖ノ利用ニ就テハ何等ノ提案ナキハ注意スヘキコトナリ然ルニまるせいゆノ石鹼製造所及ヒ製油所ハ將來該湖ノ周圍ノ土地ニ會社ノ油種ヲ直接岸壁上ニ於テ受取ル時期ノ到來スヘキヲ確信シ居レリ然レトモ從來工業家ハ迅速ニ接近スルヲ得且ツ實現スルコトノ容易ナルかろんと湖ニノミ其ノ注意ヲ注キ居タリ之レ地價ノ狂的騰貴ノ結果生シタル傾向ニシテ千九百十年ニ一平方米ニ付キ一法ノ土地ハ今日二十法ニ暴騰シ費用シ得ヘキ土地ハ殆ト見出ス能ハサル狀況ニ在リ地價ノ騰貴スルニ從ヒ本湖ノ工事實施ハ愈々切迫スルモノト思惟シツ、アリスカル間ニぼるもん湖ノ工事着手ハ大ニ進歩シタルモノ、如シ

ぼるもん湖ハ水深一米ヲ有スル細長キ小湖ニシテベー湖ノ南東ニ位シ兩者ハ狹キ一帯ノ海岸ニテ界セラル、ノミナリぼるもん湖及ヒじー (Jay) 不動産會社ハ四百八十五ヘクタールノ土地ヲ獲得シ内三百九十五ヘクタールハしやとーぬーふ・て・まるちーぐす (Château neuf-des-Martignes) 方面ノ湖面ノ一部ナリ然ルニろーぬーゆヨリまるせいゆニ至ル運河建設ノ爲メ土地ヲ收用セラレタル結果面積ハ四百五十一ヘクタールニ減シ内三百六十三ヘクタールハ水面ナリ此ノ報酬トシテ運河ノ掘鑿ニヨリ生スル土砂ノ處分ハ會社ノ自由ニ悉スコトニ省令ヲ以テ定メラレタリ本會社ハ専ラ工業設備及商業用倉庫ニ充ツル目的ヲ以テ湖ノ一部ヲ埋立テ水面積ヲ二百九十三ヘクタールニ減シ百五十三ヘクタールノ平地ヲ得ムコトヲ計畫シ之レニ由リテ原料ヲ安價ニ受取り又附近運河ヲ利用シ若クハまるちーぐすヨリば・て・らんしえるニ至ル鐵道ノ便ヲ借り或ハベー湖ニ依リ商品ヲ消費先ニ向ツテ搬出スルニ便セムトス又該會社ハ其ノ面積各十二ヘクタールヲ

參考資料 まるせいゆ港ノ擴張及ペー湖カロンと湖ノ改修

四六

有スル四個ノ船渠ヲモ設クルノ計畫ヲ有ス該船渠ハ幅六十米延長千六百七十米ノ運河ニ依リ互ニ連絡セラル、モノトシ八百萬立方米ノ浚渫ヲ行ヒ船渠ノ水深ヲ九米ニ保タシムヘク同時ニ此小入江ノ殘餘ノ部分モ亦埋立ツルニ至ルヘシ尙之等船渠ハじえーニ於ケル堤防ヲ三千三百米掘リ割ルニ於テハカロンと運河及ヒペー湖ヲ介シテ海ニ通スルヲ得ヘク又ろーぬヨリまるせいゆニ至ル運河ヲ經テモ同様ニ海ニ達シ得ヘシ其ノ他じえーノ防波堤ノ一部ヲ改造シペー湖内ニ前港ヲ設クル計畫ヲモ爲シ居レリ

### (七) 結論

目下まるせいゆ港ニ施行中ノ臨海工事ハ世界中ニ於テ最著シキモノニシテ而モ其ノ工費ノ大部分ハ民間ノ出資ニ依リベ  
 ー湖及ヒ其ノ附屬物ノ眞價ヲシテ迅速ニ發揮セシメ且ツまるせいゆヨリろーぬニ至ル運河ニ夥シキ貨物ヲ一舉ニ保證  
 スルニ至ルヘシ臨海設備ノ擴張ニ當リ斯カル規模ニ於テ開始シタルハ佛蘭西ニ於テハ之ヲ以テ嚆矢トス此ノ意味ニ於テ  
 又其ノ計畫工事ノ廣汎ナル點ニ於テ又此ノ國民的企業ニ與ヘラルヘキモノトシテ吾人ノ豫テ信シタル豫定ノ結果如何ヲ  
 立證スル點ニ於テ其ノ過去ノ課程ヲ知ルハ不要ノコトニアラサルヘシト信ス (完)